

学校目標	取 組 の 内 容	
	具 体 的 な 手 立 て	評 価 の 観 点
<p>第一志望進学実現校をめざす</p> <p>高等教育の基礎となる生徒の学力の深化と向上、志望進路実現の取り組みを鋭意推進し、国公立大学合格者 100 名をめざす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリアデータファイルの利用により生徒と保護者の進路意識の向上をめざす。 ○「進路カルテ」の導入により、生徒の進路希望、保護者の意向を把握して志望進路実現を目指す。 ○「スタディサポート」や模擬試験の結果分析とその後の指導に関する内容を保護者と共有化する。 ○「自学自習」の姿勢を育成と、「学力向上」とを目指し、「サマーセミナー」「ウインターセミナー」「チャージアップレッスン」等の具体的企画を計画・遂行する。 ○「授業力向上」の観点から「生徒による授業評価」を有効活用するために、全員協議会などを開催する。 ○支援システムを活用することで、成績処理や指導要録、調査書の作成を支援する。 ○第一志望進学実現をめざす平成 24 年度新カリキュラムを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路意識の向上につながる、キャリアデータファイルの効果的な利用ができたか。(全学年、スタディ、キャリア) ○「進路カルテ」を活用し、生徒や保護者の意向を確認しながら志望進路実現を目指す進学支援ができたか。(全学年、キャリア) ○「スタディサポート」や模擬試験の結果分析とその後の指導に関する内容を保護者と共有化することで、保護者を交えた進路意識の向上に結びつけることができたか。(全学年) ○「自学自習」「学力向上」を目的とした企画は、その目的を果たせたか。(スタディ) ○「全員協議会」をもとにした「授業改善案」を策定することができたか。(スタディ) ○支援システムを活用し、成績処理や指導要録、調査書の作成を支援できたか。(教務) ○第一志望進学実現をめざす新カリキュラムが構築できたか。(スタディ)

<p>〈自己探求〉を深め、〈自己実現〉を図る</p> <p>探究的な学びを重視したキャリア教育を推進し、生徒一人ひとりへの進路指導の強化・充実を図ると共に、現役合格率 80%をめざす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○総合研究大学院大学との教育連携事業「横高アカデミア (1st Phase)―学校設定教科『探求』／学校設定科目『知の探求』」の充実と、同「横高アカデミア」第一・二回を中心とした泊を伴う新入生学習研修「横高アカデミックセミナー」及び横浜国立大学理工学部との教育連携事業「横高アカデミア (2nd Phase)―学校設定教科『探求』／学校設定科目『知の深化A』」などを通して、人として『生きぬく力』・『人間力』・『キャリア形成力』の育成をめざす。 ○独立行政法人東京工業大学との高大連携講座「東工大クレードル講座」の計画的な実施と、学校外における学修の単位「校外講座」の単位認定を通して自己探求を奨励する。 ○本校施設記念館（セミナーハウス）を会場とする前期（夏学期）11 回・後期（冬学期）12 回（予定）のインターネット配信による『東京大学金曜特別講座』を計画的に実施することにより受講者の自己探求意欲を奨励する。 ○サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト (SPP) 講座（平成 23 年度 3 講座）を展開し、受講者の自己探求意欲を奨励する。 ○職員全員チューター制を整備し活用する。 ○「サマーセミナー」「ウインターセミナー」の実施により学力養成を援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合研究大学院大学関連施設訪問や修学旅行での北海道大学訪問などを通して、大学進学を見据えた研究専攻意識の向上に結びつけることができたか。（2年） ○「横高アカデミア (1st Phase)」、「横高アカデミア (2nd Phase)」、「横高アカデミックセミナー」において「自己探求」の観点から目的を達成することができたか。（1年、スタディ、キャリア） ○「東工大クレードル講座」の受講者を増やすことができたか。（スタディ） ○『東京大学金曜特別講座』と「総合的な学習の時間」とがうまく連携できたか。（スタディ、キャリア） ○SPP 講座の受講により、受講者の「自己探求」が進んだか。 ※参加生徒・職員によるアンケート調査を実施する。（スタディ） ○チューター制により充実した進路指導が展開できたか。（スタディ） ○「サマーセミナー」「ウインターセミナー」に参加した生徒に満足感を与えることができたか。
<p>横須賀高校に対する帰属意識の醸成</p> <p>集団生活の中で優れた人間性や社会性を培い、健康で活力あふれる生活の充実を図ることにより、各在籍学年における高校生活満足度 100%をめざす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事などへの主体的な参加により、自主自律及び社会連帯の精神、規範意識、公正な判断力、公共の精神、自他の生命を尊重する精神等を育成する。 ○校内清掃の徹底と、ゴミの分別、減少化に取り組ませる。 ○自己判断・自己決定・自己責任の生活態度を徹底させ、自主自律の姿勢をなお一層確立させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事、生徒会活動や部活動において自らの責任と役割を自覚し、横須賀高校の伝統を継承し、さらに発展させていくための在り方を考えさせたか。（ガイダンス、キャリア、学年） ○「部活動の日」を部活動の活性化および自己を見直す機会にできたか。（ガイダンス） ○交通安全の意識を高め、交通ルールの遵守やマナーの向上について指導できたか。（ガイダンス） ○学校生活におけるマナーアップ、自己管理・危機管理能力の向上が図れたか。（ガイダンス） ○健康で快適な学習環境づくりが出来たか。（マネージメント） ○自己判断・自己決定・自己責任の生活態度を徹底できたか。（学年）

<p>県民の教育ニーズに的確に応える学校づくり</p> <p>安全で信頼される学校づくりをめざし、保護者や中学校・地域などに本校の教育活動を積極的に広報し、双方向の連携を活発にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実効ある学校説明会の計画的な実施や、中学生を対象とした体験授業などの<高校体験プログラム>、保護者ばかりでなく県民に広く授業や部活動等学校生活を公開する「学校へ行こう週間」などの充実を図りながら、的確な学校情報の発信につとめる。 ○学校の活性化を図るための<地域分析>に積極的に取り組み、地域から信頼され、的確に県民のニーズに応える学校づくりを推進する。 ○個々の生徒に応じた「心とからだの健康」の支援を組織的に行う。 ○関係者と連携した健康相談活動や学校支援活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○<地域分析>に必要な、中学校教員等との情報交換の場や、県民のニーズを掌握する場を設定し、学校づくりの推進に役立てることができたか。(メディアグループ) ○学校説明会、学校へ行こう週間などの企画を学校行事として他のグループ等との連携のもとに実効あるものとして実施できたか。また、中学生対象体験授業・体験部活動の形態や広報を工夫し、参加者数の前年比増と参加者の満足度向上を図れたか。(メディア) ○HPの充実・更新、学校案内、スクールガイド等の改訂、新聞等メディアへの資料提供等により、広報活動を効果的に行うことができたか。(メディア) ○<地域連携>を深めるための研究・調整・実践を行う場を設定することができたか。(メディアグループ) ○スクールカウンセラーやコーディネーターが連携し、生徒・職員への有効な健康相談支援が出来たか。(マネージメント) ○PTA、保護者、同窓会、地域支援者等の学校関係者と建設的な連携を推進できたか。(マネージメント)
<p>進学重点校としての、本校独自の在り方の追究</p> <p>学力向上進学重点校としての取り組みの充実と時宜を得た的確な検証・振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学力の向上に向けた本校の特色あるあり方を追求し、行事の精選等における更なるスクラップ&ビルドを行い、円滑な日程運営をはかる ○的確な検証・振り返りを実施するために学校運営グループの再編を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行事の精選と円滑な運営が出来たか(マネージメント) ○学校運営グループの再編が図れたか。
<p><教育目標> 1. 心身とも健康になる。 2. 豊かな情操と教養を身につける。 3. 意志強固で不屈の精神を持つ。</p>		